



山梨県議会議員

令和3年9月定例県議会報告

流石やすし

あなたの声を県政に届ける

県政報告 Vol.10 令和3年10月発行



～県民を守り抜き、コロナ禍を乗り越える。～

山梨県は、県民の命と生活を守り抜き、コロナ禍の早期終息に向けて、医療提供体制の増強、ワクチン接種環境の整備、コロナ禍終息を見据えた経済再生対策の「3つの徹底」に最大限取り組んでまいります！

世界で猛威を振るい深刻な状況が続いてきた新型コロナウイルス感染状況が、ワクチン接種や医療従事者、介護従事者、保健所の方々や全ての関係者の皆さまの献身的なご努力によりようやく改善の兆しが見られています。

その中で、10月4日に第100代首相岸田内閣が発足しました。首相は「新型コロナウイルス対策に万全を期す。国民に納得感を持ってもらえる丁寧な説明を行い、コロナ対策に最優先で取り組む。」

「速やかに経済対策を策定していく。」さらに「数10兆円規模の経済対策を新策定する。」とし「新しい資本主義」の構築を掲げ、成長と分配の好循環で格差を解消する考えを示しました。また、重要ポストである「ワクチン接種推進担当大臣、東京オリンピック・パラリンピック担当大臣、として『堀内のり子代議士』が入閣されました。地元にとっては大変喜ばしく誇りであり心強く思っております。ご活躍を心から願っております。

山梨県では、先手対応・事前主義のもと、新型コロナウイルス感染症へのあらゆる対策をとってきましたが、世界で猛威を振るっているデルタ株は極めて強い感染力を持っているため「3つの徹底」「3回目のワクチン接種」「経口治療薬」等により終息に向けて全力を注いでまいります。

この難局を乗り越え、『新しい時代を皆さんとともに』創り上げていきたいと思っております。

《新型コロナウイルス感染症対策を徹底しましょう！》

◎新規感染者数・病床等使用率は低い水準（10月15現在）で推移していますが、第6波に備え感染を抑えながら経済をいかに回していくかが課題となっています。

◇基本的な感染対策の実施（身体的距離の確保・マスクの着用・手洗い）

◇「三つの密（密閉・密集・密接）」のある場への外出の自粛

など、感染拡大防止の取り組みの徹底をお願いします。

9月定例県議会

令和3年9月定例県議会は9月21日開会し、10月7日に閉会しました。

提出案件は条例案2件、予算案4件、認定案件2件、承認案件2件、報告事項22件、提出事項3件、条例案は、○行政事務におけるセキュリティの強化等を図るため、個人番号カードの利用に

ついて定める等所要の改正を行う「山梨県個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例中改正の件」などが可決された。令和3年度9月補正予算は一般会計187億6,407万6千円で、既定予算と合わせると5,864億958万4千円であり、前年度9月現計予算比較で92.3%である。

知事所信表明要旨

基本姿勢

8月に変異株による全国的感染爆発という最大の危機に飲み込まれた。この猛威は「感染のさまざまな状況の変転に対して即時即応で安心の社会を補強し、生命と経済を守り抜く」という新たな決意と目標を山梨にもたらした。生活再建、経済再生、そ

の先の新しい山梨にあっては、弱者を生み出さず、困窮を見逃さず、一人として置き去りにしない。県民全てで絆を深く、共に幸せ、豊かになることを目指していく。

新型コロナウイルスワクチン

「若者ワクチン接種センター」を設置し、39歳以下を対象とした接種を実施する。11月までに接種を終えた18歳から39歳までの県民を対象に抽選で食事券などを贈

呈するなど若年層の積極的な摂取につながるインセンティブを付与していく。

経済活動

グリーン・ゾーン認証の飲食店を対象に5ヶ月にわたり実質20%割引となるキャンペーンを実施し運転代行業者の感染症対策に対し助成する。酒類販売事業者に国の月次支援金の支給額に上乗せ、または対象

を拡大して支援金を給付する。認証施設の利用や基準を満たした「プレミアムツアー」を販売する旅行業者を支援するほか、ライブハウスなど地域の小規模な文化活動拠点が行う新しい生活様式に対応したイベント開催に対し支援を行う。

ヤングケアラー

教育や介護、福祉、医療などの関係者の連携を構築し、事案認知から支援に至る包括的な仕組みの構築を進める。学校現場で支援に当たるソーシャルワーカーの相談体制の強化を行うとともに、子供向けの啓発動画を配信するなどヤングケアラーに対する理解の促進に取り組む。

中部横断自動車道

山梨～静岡間の全線開通で静岡県や中京方面からの誘客が見込まれ、峡南地域では道の駅などを活用した沿線地域の文化、伝統、観光資源などの情報発信やPR強化などで、観光客の呼び込みにつなげる。長坂～八千穂間についても、一日も早い事業化と完成を目指して取り組む。

令和3年度9月補正予算の概要

1 感染拡大防止と医療提供体制の整備

○PCR検査体制強化事業費補助金(1億6,000万円)

PCR検査体制を強化するため、医療機関が行う検査機器の整備に対する助成を行う。

○新型コロナウイルス感染症患者受入支援事業費補助金

(71億900万円)

感染症患者等の受入体制を確保するため、病床確保に要する経費に対し助成する。

○宿泊施設を活用した軽症者等受入事業費(57億662万円)

重症化した患者に対し適切な医療が提供できるよう、民間宿泊施設を借上げ、軽症者等の受入体制を整備する。

○(新)宿泊療養施設等退所後ケア事業費(6億7,375万円)

感染拡大時における医療提供体制を確保するため、退所後の療養体制を構築する。

2 県民生活に与える影響の最小化と新しい生活様式への対応

○生活福祉資金貸付事業推進費補助金(2億円)

低所得者、障がい者等を経済的に支援するため、生活に必要な資金の貸付けを実施する県社会福祉協議会に対し助成する。

○(新)新型コロナウイルス感染症対応検証・記録事業費(9,256万円)

感染症への対応を後世に継承し、将来の感染症対策へ活用するため、蓄積された情報の整理と検証を行う。



3 県内経済の安定化・反転攻勢に向けた対策

○(新)やまなし食のグリーン・ゾーン応援キャンペーン事業費

(12億8,684万円)

まん延防止等重点措置等の影響に伴い利用が減少している飲食店等の消費回復を図るための取り組みを行う。

○(新)まん延防止等重点措置対応酒類販売事業者支援金

(1億5,580万円)

まん延防止等重点措置期間における酒類提供期限の影響を軽減するため、酒類販売事業者に対し支援金を給付する。

○(新)やまなし地域産業活性化プロジェクト支援事業費補助金

(1億1,000万円)

県内経済の反転攻勢を図るため、商工団体等が行う新たな消費喚起の取り組みに対し助成する。

○(新)やまなし冬のプレミアム観光推進事業費(3億6,854万円)

観光産業の反転攻勢を図るため、事業者と連携し、本県の魅力ある観光資源を生かした取り組みを通じて誘客を促進する。

4 その他主要事業

○(新)情報セキュリティ対策強化事業費(1億7,799万円)

○(新)ヤングケアラー支援強化事業費(1,549万円)

○(新)大規模P2Gシステムによるエネルギー需要転換推進事業費

(1億2,099万円)

代表質問・一般質問の要旨

1. 新型コロナウイルス

—富士山での今夏の感染対策は—

知事 山小屋の換気能力の強化に対し助成し、感染防止対策ガイドラインに沿った取り組みを徹底した。救護所には防護服やゴーグルなどの配布や、麓の医師とオンコールに宿泊施設で利用している画像を活用するシステムを導入し、救護体制の充実を促進した。

2. P2Gシステム(太陽光発電の電力で水を電気分解して水素を作る)の取り組みは

知事 本年度から5年間で現行の10倍に当たる合計16メガワットの規模でのシステムの導入を目指し国内で複数の工場で実証を行う。飛躍的に高まるグリーン水素への期待を追い風に、県内外でさまざまな地域や企業へのP2Gシステムの展開を図り、新たな水素エネルギー産業の創出を目指す。

3. デジタルトランスフォーメーション(DX)の今後の進め方は

知事 私を本部長とするDX推進本部に加え、今年4月には県にDX推進室を設置し全庁的な推進体制を確立している。音声認識技術を活用した高齢者にも使いやすいタブレットアプリの開発支援や、外国語を含む観光に関する問い合わせに自動応答するシステムを導入するなどさまざまな取り組みを進めていく。

4. グリーン・ゾーン認証制度の推進策を示せ

知事 超感染症社会を構築するために認証制度を常に進化させていくことが重要である。7月に導入した入店管理システムの登録者は7万人で、店舗利用のルールを発信している。国際的な評価が得られるワンランク上の基準構築に向けては、認証宿泊施設3カ所を対象に実証事業を開始した。

5. 道路網の災害に強い広域的なネットワーク整備に向けた対策は

知事 中央道では、小仏トンネルの別線トンネルの整備、法面の補強工事を行っている。中央道や国道20号線が被災した際の迂回路となる国道413号では道志バイパスの整備とともに集中的に防災工事を実施し7月に事前通行規制を撤廃した。北関東へのルート確保のため、中部横断自動車道長坂・八千穂間の早期事業化を目指す。

6. 県産酒の消費拡大とブランド力向上の取り組みは

知事 認証銘柄の販売促進キャンペーン、日本酒の高級ホテルでの試飲会やワインのロンドンプロモーション支援に取り組む。



以上、9月定例県議会の概要を報告いたします。今後も地域の皆様のご意見やご提案を『堀内のり子ワクチン兼五輪大臣』、『山梨県及び山梨県知事』に着実にお伝えしていきます。より安全で豊かな地域を目指して懸命に努めてまいります。引き続き、ご理解とご支援をお願い申し上げます。

発行者

流石やすし事務所

山梨県富士河口湖町船津3449

TEL:0555-73-1311

FAX:0555-73-3500

E-mail:fujisan5@mfi.or.jp